

平成 26 年度 施策評価シート

| | |
|-------|---|
| 基本構想 | 生活の質の向上と定住人口の確保 |
| 重点的方針 | 4.子育て世代の定住促進 |
| 概要 | 住み良いまちづくりを推進することにより、「生活の質」を向上させ、誰もが「住んで良かった」と言える町にするとともに、地域全体で子育てを支援することにより、子育て世代を中心に定住者の増加に努めます。 |

| 基本計画(分野別方針)事業名 | 実施計画 事業数 | 総合評価 |
|----------------------|--|------|
| (1) 子育てサロンの充実 | 1 | A |
| (2) 子育てコミュニティづくりの推進 | 1 | A |
| (3) 住まいの確保・住環境の整備・誘導 | 1 | B |
| 課題 (箇条書き) | <ul style="list-style-type: none"> ・多様化する保護者のニーズへの対応が必要となる。 (子育てサロンの整備(各小学校区に1か所配置)) ・子育て世代の定住促進に向けた、制度等の周知が必要となる。 | |

| | | |
|------|---|--|
| 総合評価 | A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある | B |
| | 説明 | ・定住促進への検討は、住宅・教育・医療・就労環境など様々な要素が影響する。子育て世代をターゲットにした新たなPR手段、手法改善に向けた関係各課の連携による総合的な取り組みが必要となる。 |
| | 方向性 | ・新たな子育て支援拠点の整備に向けた検討を進め、様々な子育て世代のニーズに対応し、広く内外にアピールしていく。 ・人口増に向けた定住促進策として、転入動機のきっかけとなるような助成事業の充実を検討していく。 |

| ◎最終評価者[庁内評価委員会] | | |
|-----------------|---|---|
| | A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある | B |
| 意見等 | 「子育て世代の定住促進」の項目については、適切に位置付けられており、効率よく事業が進められているが、一部改善の余地がある。定住人口の増加に向けた促進策として、転入のきっかけとなるような思い切った事業展開を検討する必要がある。 | |